

宇和島城とクラック・デ・シュヴァリエ

1年2組 山村 涼乃 1年3組 安藤 千織 1年3組 曾根日織子
1年3組 武花 幸奈 1年3組 水谷 晴香 1年3組 棟田 実里
指導者 井上 真介 西岡めぐみ 松田 彩 渡部 陽子

1 課題設定の理由

観光立国を目指している日本。各地方では、その地域の魅力を世界に発信しようとする試みを始めている。今回、私たちが外国の人たちに PR したいと考えたのが宇和島城である。一方で、世界に目を向けると、観光どころではなく、紛争などによって文化遺産が危機にあるという報道を目にするようになった。私たちは、現在その危機に見舞われている城の一つに、シリアにあるクラック・デ・シュヴァリエがあるということを知った。「宇和島城」の魅力を世界にアピールしたい、「クラック・デ・シュヴァリエ」のことを日本人たちにも知ってほしいという思いからこの課題を設定した。

2 研究の方法

(1) 方法

ア 宇和島城

- ・宇和島城に関する本やインターネットで調べる。
- ・実際に宇和島城を見学し（平成28年10月27日）、管理人の方に質問する。
- ・調べたものをまとめて、英語版のポスターを作る。
- ・木屋旅館さんを訪ねて（12月～2月）、アドバイスをいただく。

イ クラック・デ・シュヴァリエ（2006年ユネスコ世界遺産登録）（写真1）

- ・インターネットや十字軍に関する本で調べる。
- ・調べた内容をまとめて相違点を見つける。



写真1 クラック・デ・シュヴァリエ
（「世界遺産（建築・遺跡・記憶）」より引用）

3 結果と考察

宇和島城とクラック・デ・シュヴァリエの特徴を以下に記す。また、表1に両者の比較をまとめた。これらを元に宇和島城の英語版ポスターを作成した（図1）。

ア 宇和島城（1596年 建築）

- ・書院造（畳、障子、襖、天井）がある。但し、畳は現在敷かれていない。
- ・天守台は、切込ハギが使用されている。
- ・城の周りは五角形となっている。幕府には四角形と報告していたため、攻められても、死角から逃げることや攻めること、守ることが可能となった。

イ クラック・デ・シュヴァリエ（1031年建築）

- ・アーチ天井（ヨーロッパの天井とイスラムの天井の融合がみられる）である。
- ・正面近くの防御壁は分厚くなっている。また、白い煉瓦がすきまなく積み重ねられている。

表1 宇和島城とクラック・デ・シェヴァリエの比較

	宇和島城	クラック・デ・シェヴァリエ
違う点	城壁がない	街全体を城壁で囲む
	領主のみを守る	街全体を守る
	石を高く積み上げていない（地震の影響）	石を高く積み上げている
	天守閣がある	天守閣がない
	造りが宗教に影響されていない	造りに宗教が関わる（イスラム教→キリスト教）
	平和の象徴（城主の威厳を示すもの）	防衛と攻撃のための拠点
似ている点	市の中心にある	都市にある
	現存している	現存している

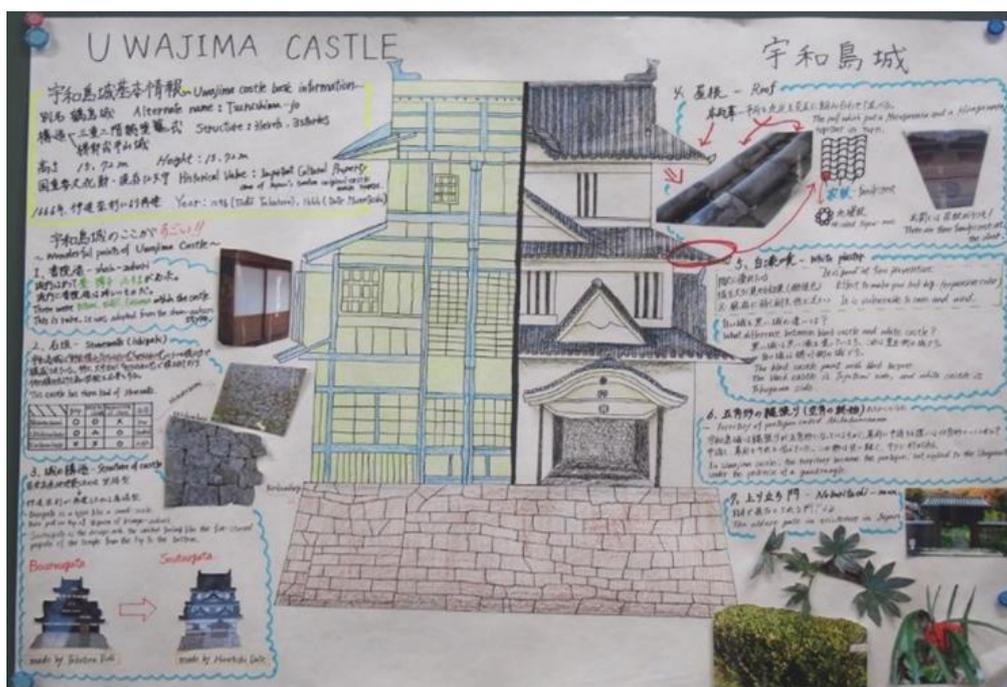


図1 宇和島城の英語版ポスター

4 まとめと今後の課題

- (1) 宇和島城の一番の特徴は、城の周りが五角形になっていることと考えた。
- (2) シリアの城の一番の特徴は、敵の侵入を最小限に抑えることのできる2重構造であると考えた。
- (3) 宇和島城とシリアの城との相違点を調べる中で、シリアの城には宗教が建築様式に関わりがあることが分かったので、更に研究を進めていきたい。

謝辞

今回、私たちの調査に関わってくださった、宇和島城の方々、木屋旅館様のおかげでこのような結果を導くことが出来ました。心からお礼申し上げます。

参考文献

- ・大類伸（1967）『日本城郭全集』人物往来社
- ・教養実用出版事業室編（2014）『世界の絶景 お城&宮殿』学研プラス
- ・塩野七生（2011）『十字軍物語2』新潮社
- ・宇和島市ホームページ <https://www.city.uwajima.ehime.jp/>